

① 開催の宣言と予定終了時刻の周知。

本日はお忙しいところお集まりいただきありがとうございます。

これから、妙高太郎さまのサービス担当者会議を始めさせていただきます。

② 参加者の紹介。

皆様ご存知かと思いますが、いちおうご参加していただいた方の自己紹介をお願いします。

⇒〇〇ヘルパーステーションの〇〇です。ケアマネジャーの〇〇です。訪問看護師の〇〇です。在宅主治医の〇〇です。娘の〇〇です。

③ 開催の目的をハッキリさせる。

④ 現状と課題（討議してもらいたい点）の簡単な紹介。

⑤ ご本人→ご家族→サービス担当者→主治医の順番に、④をふまえて発言。

太郎様は、いろいろな病気もお持ちです。まず、最近の病状について、先生のほうからご説明いただけますでしょうか？

⇒主治医：86歳になられましたがお元気です。医学的な問題点は、肺気腫による息切れ、紅皮症による皮膚のかゆみやただれです。一時在宅酸素療法も行なわれましたが、現在は呼吸状態も落ち着いており風邪を引いたりしない限りは酸素の必要はありません。皮膚については、△△総合病院の皮膚科に通院中ですが状態は落ち着いていると思います。最近体調がいいせいか、体重がこの半年で7kgほど増え、軽い糖尿病の状態にありますが食事の極端な制限は必要ありません。歩行状態は以前に比べよいと思います。皮膚科からのステロイド剤や内科のアレルギーの薬など服薬をきちんと行い、呼吸や皮膚の状態に変化がないかどうか訪問看護と訪問介護でその辺をよくチェックしていただければいいと思います。

★それでは、ご家庭での状況についてヘルパーステーションの方からお願いします。

⇒ヘルパー：現在、週〇回、午後〇時より1時間訪問介護でご自宅に伺っています。日中は、認知症で寝たきりの奥様とお2人でお過ごしです。食事は野菜中心で、主催・副菜を調理しています。おなかが空くのか、ご自分でアイスクリームや、奥様用に用意してあるエンシユアキッドも摂取されています。また、どうしても夕食が早い時間帯になってしまうので、ご家族が夜遅く帰られてからつまみを食べたりアルコールも飲まれているようです。皮膚の状態も、アルコールを飲んでいるときにはかゆみがひどくなり悪くなっていると思います。入浴は、週〇回行ない、その都度皮膚科からの外用薬を全身に塗っています。ご本人からは、特に入浴を嫌がったり薬を飲むのを拒否したりされることはありません。ただ、引越してから家が広くなったため、台所で食事の準備をしている間、ご本人に声をかけたりお話をすることが距離的に難しくなっています。以前ですと、食事の準備をしながら、会話できたのですが、現在はその時間、ご本人は横になってお休みになっていることが多いです。コミュニケーションの時間が少なくなっている印象があります。

★ご家族のほうから如何でしょうか？

⇒家族：もともとお酒が好きなので、私たちが帰宅してからの団欒のときに、かわいそうだからチュウハイを飲むのが日課になっています。そうしないと、日中お酒をたくさん飲んじ

問題点：

1. 予定終了時刻の宣言と協力依頼がない。
2. 開催目的をハッキリさせていない。
3. 現状と課題を伝えていない。（何が問題でどうしたいのか？ ケアマネ自身の考えを伝える必要あり。）
4. 最初からの医師からの発言は原則として避けたほうがいいかもしれない。
5. サービス担当者の発言も目的がわからないので統一性のない内容になってしまう。

やって、皮膚が痒くなり血が出るまで引っかいてしまいます。昼間はお酒を飲めないで、つい食べてしまうようです。最近体調がよさそうで、家族としてはうれしいのですが、本人が食べたいものを自分で探して食べてしまいます。どうしたらいいでしょうか？ 今後は、おばあちゃんのエンシュアキッドやアイスは本人の手の届かないように、しまい場所を考えます。

⇒訪問看護の方はいかがでしょうか？

週 1 回訪問させていただき、服薬の状況や呼吸状態・皮膚の状態を観察させていただいています。さきほど先生が言われましたように体調がよさそうで、服薬も守られています。引越してから、ベッドや居間で横になっている時間が増えているようなのが気になります。通所リハビリにも週 1 回行っておられますが、それ以外に体を動かす必要があります。時間のあるときに、どなたかと一緒に散歩されるなどもいいかもしれません。

★以前に比べ、アルコールの量も減っているようで、状態は安定されているようです。今後は、歩行時間を増やすなど、横になっている時間を少なくするように心がけていくのが大切だというお話がありました。一緒に散歩していただく人もなかなかいらっしやらないし、、、、通所リハビリの回数を増やすほうがいいでしょうか？ また、後日検討させていただきます。

#### ⑥ ④／⑤をふまえての追加発言。

★そのほか、何か皆様のほうでご意見はございますか？

⇒ヘルパー：糖尿病もあると伺いましたが、ご本人がアイスクリームなど欲しかった時にはどうしたらいいでしょうか？ なかなかダメとはいえないのですが、、、、

⇒主治医：ご高齢ですし、これもダメあれもダメというのもご本人にはストレスだと思います。お酒よりはいいのではないですか。たとえばカロリーが少ないシャーベット状のものなどで工夫したらいいかもしれません。あと、体重も測っておいてください。

⇒ケアマネ：体重については、ヘルパーさんに 1 週間ごとに入浴前に測定していただくようにしてみます。

#### ⑦ まとめとされた課題を伝える。

いろいろな意見をありがとうございました。また、3 ヶ月ほどの経過を見て、必要なら計画の見直しを行ないたいと思います。

本日は本当にありがとうございました。

6. 運動の必要性→安易に通所サービスの回数↑としてしまう。

7. 全体に、ご本人の能動的な活動を支援する・家庭内での役割や参加を促すような考えがない。

8. 具体的な内容に踏み込んでいない。体重も記録することで、本人の自覚を促すという目的をはっきり言うべき。